

児童発達支援自己評価表（公表）

事業所名 平戸市療育支援センターあったかさん21 保護者数（児童数） 24 / 40名 回収率 割合 60 % 令和5年12月 実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24				・思いつき身体を動かして運動遊びを楽しめている。	・危険がないよう努めながら、しっかり身体を動かせる環境を提供できるよう努める。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	23			1	・専門性や経験に違いはあるが、よくみている。 ・常勤の作業療法士や言語聴覚士がいたらいい。	・職員を拡充し、1：1に近い関わりが出来ている。 ・経験や専門性に違いはあるが、各自研鑽を積むと同時に、事業所内研修などで、療育全体の質の向上を計る。 ・非常勤の各療法士が評価の実施・療育への助言を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか	24					・一人ひとりの遊びや動きに合わせ、興味や関心に沿った活動しやすい環境作りを努めると同時に、机上課題時に部屋を分ける等お子様に合わせた空間作りを努める。 ・気持ちや活動の切り替えがしやすくなる配慮や、活動に集中出来るような療育環境を整える。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動にあわせた空間となっているか	21	2	1		・廊下に、虫が死んでいた。 ・髪の毛が落ちていた。	・環境整備に努め、安全・清潔な場を保つよう努める。 ・掃除に加え、職員一人一人が意識を持ち、環境整備に努める。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21	3				・相談しやすい環境作りや、保護者様のご心配等に寄り添って行く。 ・相談支援員との連携などを通し、多角的な相談支援に努める。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び以降支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20			4	・親の不安に対し、話を聞いて、助言をくれるので助かる。 ・保育園の先生と話をしてくれて助かる。	・グループや、プログラムのねらい、時間配分などを見直し、療育の内容を充実させると共に、保護者様への説明を取り入れたい。 ・個々に合わせた題材や工程などを取り入れるために、課題によっては部屋を分ける対応を続けていく。 ・相談支援員など関係機関と連携し、丁寧な相談を行う。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24					
	8	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか。	22		1	1	・毎回同じ活動内容だと思う。	・興味や関心に沿って楽しめる設定を工夫していきたい。 ・変化が苦手なお子様がいることも踏まえ、計画していく。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13	2	3	7		・交流の機会を作ることは難しい。日常の保育園・幼稚園・こども園での生活が、過ごし易くなるための支援を行っていく。

保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	2	4				・受給者証更新や、変更・改定時の混乱を防ぐため、解り易い説明で、丁寧に対応していきたい。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2	3	1			・モニタリングを通して、保護者の方のご意見や園・ご家庭での様子を伺い、必要な課題を確認しながら計画書を作る。保護者の方のニーズを踏まえた文言について、支援の方法を具体的にお話するよう努める。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1	3	4	2	5		・保護者様の相談にのったり、支援の方法をご提案できるよう、職員のスキルアップに取り組んでいきたい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	1	9	4		1		・スタッフ全員でお子様の特性などの理解に努め、同じ目標や課題を共有しながら支援出来るようにしていきたい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	0	3		1		・半期に一度のモニタリングを実施するとともに、個別相談をしやすい環境作りや個別相談支援に対応していく。 ・相談内容に寄り、必要な関係機関につなぐ役目も担う。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3		7	1	1	3	・保護者向けの講演会を企画していきたい。 ・保護者が集まり、情報交換や気軽に話せるような企画も再開させ、保護者の不安軽減や交友の機会を作っていきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	1	1		2		・相談への返答・助言などの支援が出来るよう、職員のスキルアップに努める。
	17	子どもや保護者と意志の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	3	1				・休みの連絡など、以前より保護者様との連携がとりやすくなっている。相談の糸口としても活用して頂けるよう努める。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	9	2		3		・SNS等を日々更新することは難しいが、療育の前後などお会いした時に、お子様の成長や課題についてしっかり共有していく。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2	2	1		1		・個人情報は厳重に管理しているが、掲示物の名前や顔写真などの使用についても、慎重な取り扱いに注意していきたい。	

非常時等	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	1	3	1	9		・年中児を対象に、10月の療育で避難訓練を実施している。
------	----	---	---	---	---	---	---	--	------------------------------

の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1 2	2		1 0	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したことがない。 ・自分が知らないだけかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりで実施を知らせたり、実施後の報告を掲示しているが、浸透していないので、伝え方や方法を工夫する。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2 4				<ul style="list-style-type: none"> ・親子ともに、楽しみにしている。 ・スタッフが笑顔で接してくれるのが良い。 ・細かいところもよく褒めて貰えるので、とても楽しく通っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が楽しみにしてもらえそうな療育、保護者様が子育てやお子様との関わりに自信を持ってもらえるような場所・時間していきたい。 ・楽しく遊び、しっかり運動する中で、1人ひとりが自信や自己肯定感を持って活動出来るよう、個々の課題にしっかり向き合い、丁寧な療育支援をしていきたい。
	23	事業所の支援に満足しているか	2 2	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しく過ごせています。 ・不安になっている時も、やさしく対応して頂いて、支援にはとても満足しています。 ・うまくできていない所でも、していることを褒めて貰えるので、自己肯定感UPに繋がっています。 ・どうしても怒ることが多かったんですが、療育の中で褒め方を教えて貰ってから、少しずつ褒めるようになってきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のニーズにしっかりと向き合い、お子様に必要な支援を提供出来るよう努めていきたい。 ・市町、各関係機関と連携し、今後より良い関係性のもと、お子様を取り巻く社会・学校・行政につないでいきたい。 ・ご家庭でも取り入れて頂けるような生活の工夫や、困り感に対する提案をしていきたい。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。